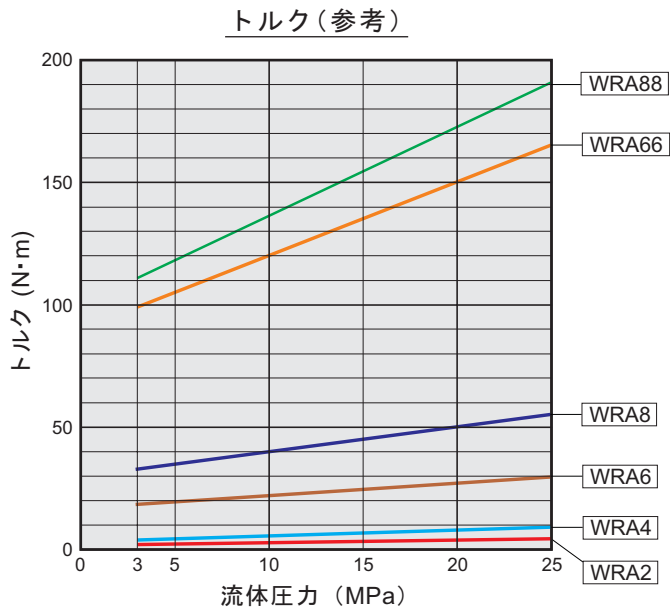
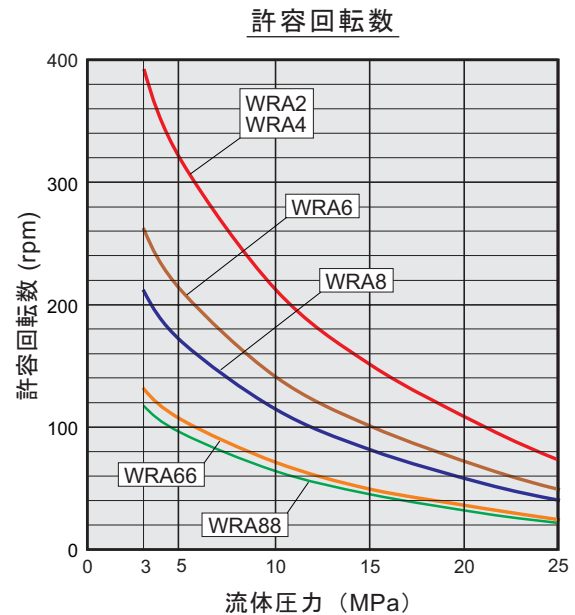


## トルク (参考)、許容回転数

### model WRA

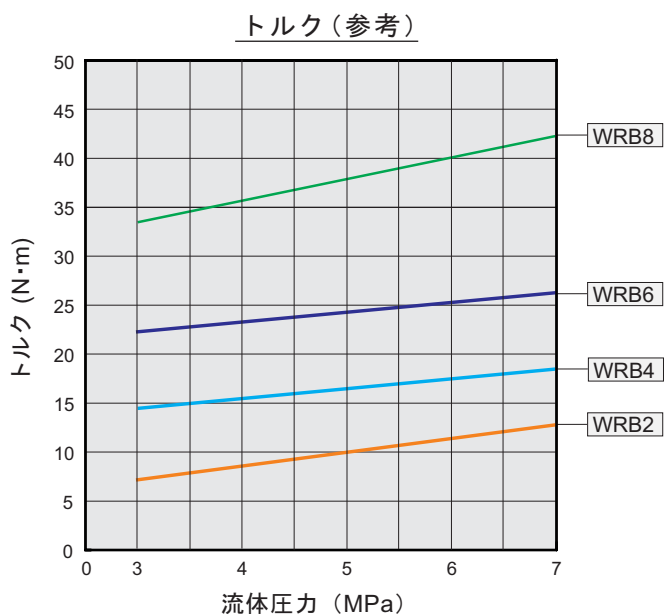


上図は安定回転時のトルク (パッキンの摺動抵抗) を示します。始動トルクは安定回転時の1.5倍以上となることがあります。個々の製品によりトルクにはバラツキがあります。上図に示すトルクは参考値です。

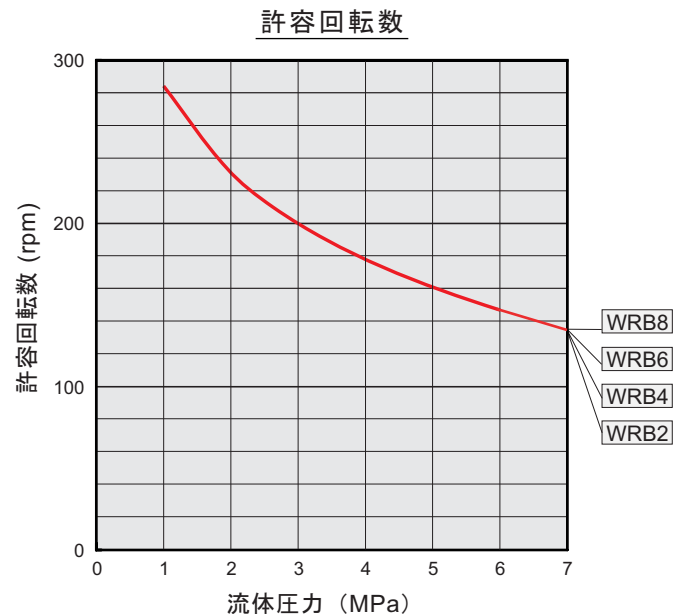


上図は適切な潤滑油膜が形成されている場合の許容回転数を示します。使用流体圧力、回転速度及び使用周囲温度は、相互作用があるため、同時に最大値で使用することはできません。

### model WRB



上図は安定回転時のトルク (パッキンの摺動抵抗) を示します。始動トルクは安定回転時の1.5倍以上となることがあります。個々の製品によりトルクにはバラツキがあります。上図に示すトルクは参考値です。



上図は適切な潤滑油膜が形成されている場合の許容回転数を示します。使用流体圧力、回転速度及び使用周囲温度は、相互作用があるため、同時に最大値で使用することはできません。

## ⚠ 使用上の注意

- 使用流体は、一般鉱物系作動油またはエアです。  
他の流体に使用する場合は、お問い合わせください。  
エアを使用する場合は、ルブリケーターを使用してください。
- 一般鉱物系作動油に使用する場合、隣接する回路への油膜リークが生じます。作動油とエアの両方に使用する際は、必要に応じて作動油回路とエア回路の間にドレン回路を設けてください。（ただし、油膜リークを許容できるエア回路の場合は、ドレン回路を設ける必要はありません。）
- パッキンの摺動抵抗により発熱しますので、連続運転は避けてください。
- 取付けの際には、回転側を固定し、停止側は偏芯による負荷がかからないように、回転方向のみ拘束してください。（下图参照）
- 配管には鋼管を使用せず、フレキシブルホースを使用してください。
- ドレンポートは、プラグ等で塞がないでください。ドレン回路は、独立配管とし、タンクに直接戻してください。

